



サカタ二友の会ニユース

今年も騙る字か！

昨平成19年の字と選られた偽を清水寺管長さんが大きく書かれた。この一年間目まぐるしく「総理大臣」の辞職が続いた。それと同列には置きたくないが、アソウ小乱の報道中に、あの偉大な王貞治さんが監督を辞めれる報あり今年「辞」の字かと思ったりした。が、お二人はご健康上辞職、お一人はノーヒットで気力が落ちた個人的理由だから今年の「字」には相応しくない。さて、北京オリンピック、今年には明るく輝く字として「金」かなあと思つたが、選手役員数と「メダル」の数は反比例。せめて星野ジャパンが「金」ならそれでも良いが、残念ながら「銅」にもならなかった。

暗い方は、地震、集中豪雨、猛暑。無差別殺人や親殺し子殺しも有った一字では表現し難い。中国の水を加え量ゴマ



19日、中国・広東省で汚染粉ミルクを廃棄する中国当局の職員。

かすメラミン混入粉「メルミン混入粉ミルク」は日本でも各方面に被害が出ている。どの問題でも「割を食わされ騙される」消費者は黙っていられない。「振込め詐欺」は後を断たない。去年は偽だったから今年の字は「騙」でいこう。近いうちに「総選挙」が有りそうだ。長年、甘い言葉や単純なフレーズに騙されたようだ。次は眉毛に唾をつけてシツカリと聞く習慣をつけよう。

発行者
株式会社サカタニ
集西楽・サカタニ
ファミリーマート
サカタニ京阪七条店
〒605-0993 京・
東山区七条こころ坂下
・075-561-7974
URL www.sosake.jp/
E-mail info@sosake.jp
とんからりんは
毎月発行の
会員新聞です
編集・酒谷義郎
yosi rou@sosake.jp



写真は「酒ばやし」

この頃から酒造りが始まるので、この日を「酒造の元旦」として祝つている蔵元もあるそうです。1965年(昭40年)まで、酒造年度が「10月1日から翌年9月迄」(現在は7月から翌年の6月)だったの、業界(日

税の大きな部分を占め、酒業界は国の統制下に置かれていました。酒質の良くないものが出回る状態が「日本酒離れ」を飲んで戴きたいのです。

十月一日は日本酒の日

本酒造組合中央会)が1978年(昭53年)10月1日を「日本酒の日」と定めました。当時、全酒類一位の座をビールに明け渡した日本酒は洋酒と挟み撃ち状況の危機感もあつたので、最近では女性若者の愛飲家が増えましたがマダマダ完全復活には程遠い状況です。

命が各地を管理させたことも神を集め「大社」と「佐太神社」で10月11日「26日の間、人々の幸せを願う相談するため開く(神話)。大国主命は「因幡の白兔」の逸話で有名な神。神話の世界であるが「人々の幸せのため会議」を主宰された。古事記の時代と違い現代は、人々が神(代表を近いうち「神選ひ有り」に影響を与えました。平成元年にヤット戦時中からの「日本酒の級別」が廃止され、今や「酒の界」になるほど評価が上がっています。



十月は神無月と言つて。由来は諸説あるが全国の八百万(ヤオヨロズ)の神々が会議で出雲大社に集合説が有力。会議は父神大国主(法皇)の御心。幸いに現代は昔の「神様世襲制」はなく意見の合う神を「選挙」の「一票」で選べる。金好き、喧嘩好き、浪費家でも神になりたい人は多い。「神選び」は裏ラベルの細かい字を見て品定めする姿勢で「神」を選ぶ。政治に無関心でも結果は自分に振りかかる。

選んでその役割を委託するシステムになった。各地で選ばれた「議員」と言つた名の神である。配分は、その神々の会議で決まる。神が多数で決めたことは、自分は無理、嫌でも従うことになる。

アメリ力で9月15日150年の歴史がある米リーマン・ブラザーズが連邦破産法を申請した。1997年(平9)に山一證券株式会社が自主廃業した。皮肉に日米で4位の株屋のバブル絡み。諺の「歴史は繰り返す」ピツタリ。諺に「二度有ることは三度ある」も有る。安部・福田と総理の職場放棄が二度続いた。どちらも世襲議員。次？は元総理の外孫で三代目で苦勞知らずと聞く三度目の心配不要か？

森永の事件は森永乳業と被害者の話し合いで1975年(昭28年)被害者の恒久的救済が続けられている。中国は果してどのよう解決するのだろうか？

二ユースで中国で有害物質メラミンが混入した粉ミルクを飲み乳幼児が腎臓結石になり10人死亡、数万人の乳幼児が治療を受けていると報じた。ふと、1953年(昭28年)の森永粉ミルクヒ素中毒事件を思い出した。症状(神経障害、臓器障害など)が出た被害者数は、1万2千人以上、死者が百三十名。

二ユースで中国で有害物質メラミンが混入した粉ミルクを飲み乳幼児が腎臓結石になり10人死亡、数万人の乳幼児が治療を受けていると報じた。ふと、1953年(昭28年)の森永粉ミルクヒ素中毒事件を思い出した。症状(神経障害、臓器障害など)が出た被害者数は、1万2千人以上、死者が百三十名。

ヨシイちゃんのひとりごと

気楽な稼業と来たもんだ！

先月号「どんつき」に「xx xは三日したらやめられん」と言う昔話に例えて政治家の後継者のことで「アソウや歯切れの良い外孫・・・」など書きました。サミット後、福田首相のお顔でどうも長くないあと思っていました、マサカその号の印刷が終わった日に辞任なんて早すぎるやん。



無責任時代で一世風靡した植木等は「はいそれまでヨ」と歌いつつ「判っちゃいるけど辞められない」とも歌っています。普通の人は(私も)辞めたくても辞められないのです。客観的に自分を見て、不向き

な仕事でも、生活使われことが無いように。があり、家族が「総理椅子」に座りたいと後継者希望が沢山名乗り出たが茶番劇。

るから主体的な自己責任を果たすため精一杯の努力を続けるのでは無いでしょうか。もう既に責をお投げなさったお方にとやかく言っても詮無きことではあります。無きことではあります。少なくとも次の「総選挙」に立候補されないこと願うのみです。それ位のペナルティは当然です。貴重な椅子を「ワヤ」にしたお方を公認候補にしたら自民党も「ワヤ」になりますよ。

アローイ 七・金沢ひろあき

「政治家は三日したら辞められないが、総理は好きな時に辞められる」と後世の譬え話に夕食をいただいた後、バイ・シー儀式に参加しました。バイ・シー儀式は、友好を結ぶ儀式です。まず、音楽と舞踏があります。タイ人は皆踊りがうまいです。誰もが、乞われると、さつと歌い踊っています。そして、皆で楽しんでいきます。それが文化であり、たしなみななのでしょう。

日本でも昔、謡をさつとやれる老人がいました。それは今はカラオケで機械に助けってもらって謡っているわけです。機械と歌詞カードがなければ、とても歌えないという状況になっているわけです。そういう意味で、日本の文化は痩せているのかもしれない。



バイ・シー儀式の写真は著者提供のものではないので、検索し、ホームページを参照してください。

言葉の断層 アラカル

わが店には、上は2歳から下は3歳まで、京都以外の出身の店長に聞きました。地の人に働いて貰っています。オ台)が「若いバイト」は「フィルム」を知らないで困りました。生まれ頃に使ってフィルムが出てみフィルムを見ることがないので、言ったバイトは大学1年生。



一人、手首に長さ10センチほどのひもを結んでくれます。お年寄りが結ぶのは、長生きできた幸をふり与えてくれるという意味があるからだそうです。ひもと一緒にかが結ばれました。バイ・シー儀式、ホームステイ先に帰った時は、夜もかなり更けていました。このお母さんの兄という人が来て、Tクンと会話文集を指差して交流しています。私は姉弟二人とお絵書きをして遊びます。言葉は通じませんが、絵は心を通わせますね。絵や漫画の力は大きいですね。蚊帳を釣って寝ました。「蚊帳なんて」となりトトロ」で見たことがあるくらいで、体験するのは初めてですよ」とT君が笑います。そういえば「蚊帳」という漢字が読めない若者もいますね。タイの村 三十年ぶり蚊帳を釣る ひろあき

京都&東山 ぶらりピカリ

11

昭和保育園

8月二階「ギャラリー集」で「ご近所さん」が開かれた。鞆町七条下る「昭和保育園」



「ご近所さん」が開かれた。鞆町七条下る「昭和保育園」の園児がご近所の方々に「使い捨てカメラ」で撮影した写真展。これが幼児の撮影かと驚く良い写真が並んだ。日頃は、怖そつなお顔の人も、何とも表現仕様のない穏やかで美しいお顔で写っている。幼児の集団がカメラを向けたので、その一瞬、自分も幼児の気分になられたのだらう。昭和保育園は、昭和3年創設された保育園。健康・安全・愛情を保育の柱として家庭的な雰囲気の中で、園長・海老原正人先生と経験豊富なスタッフが、子供たちの健やかな成長のお手伝いをされている。その昭和保育園園児の手で奥の「楽々ホール」中に「蜘蛛に巣」が張られた。【ひもを結び、大きなクモの巣で園児挑戦



写真：懸命にクモの巣を子どもたちを結び上げる(東山区)

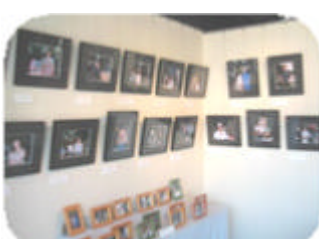
「集西楽サカタニ」で開かれる。近くの昭和保育園の園児80人による、大きなクモの巣が張り巡らされた幻想的な空間が広がる。年を重ねる度に、子どもたちの手先が発達する様子を表そうと、回園が企画された。園児らがひもを編み、結び上げたクモの巣は、最大で9メートルに及び、お化け屋敷調の暗い部屋と、今、原油を巡り一部の国を除いて世界は四苦八苦しています。日本は七〇年前、国が進路を誤り原油の確保が出来ず、大変な時代を潜り抜けました。戦時体制では石油類は統制下にあり、自動車による輸送は代用燃料となりました。そのため中央卸市場から市内に点在する公設市場への、生鮮品輸送方法の確保が急務となりました。そこで京都市は不要不急となつた散水電車を貨物電車に改造して、公設市場へ配達することにしました。7両が改造され元からの1両炉を加え、8両が市民

「【】内は京都新聞 8/30記事写真から」 園児たちの熱心な作業姿を見ていても目的が解らず、園長先生にお尋ねした。「小学校に入るまでに、蝶結びが出来るように」とのお応え。そう言われると会場に入り口に色々な結びの形が紙や紐で造られたハネルがかざられている。開催前から何度も保育園先生方が、ホールで検討されたプランを前日に園児たちがワイワイとハシヤギながら、紐を結び「くもの巣」をつくっていく。良く結び、結ぶのに苦しんでいる子に手助けをして出来上がった。ホールを暗くし電源が入ると青白い「大きなクモの巣」が浮かび、歓声がホールに響いた。どの子の顔も誇らしげに輝いていた。先生方のうれしそうなお顔も見えた。

「ご近所さん」の園児がご近所の方々に「使い捨てカメラ」で撮影した写真展。これが幼児の撮影かと驚く良い写真が並んだ。日頃は、怖そつなお顔の人も、何とも表現仕様のない穏やかで美しいお顔で写っている。幼児の集団がカメラを向けたので、その一瞬、自分も幼児の気分になられたのだらう。昭和保育園は、昭和3年創設された保育園。健康・安全・愛情を保育の柱として家庭的な雰囲気の中で、園長・海老原正人先生と経験豊富なスタッフが、子供たちの健やかな成長のお手伝いをされている。その昭和保育園園児の手で奥の「楽々ホール」中に「蜘蛛に巣」が張られた。【ひもを結び、大きなクモの巣で園児挑戦

東山で「結び」をテーマに子どもを育ちを表現する制作展が30、31日、京都市東山区七条通本町西入ル

の「集西楽サカタニ」で開かれる。近くの昭和保育園の園児80人による、大きなクモの巣が張り巡らされた幻想的な空間が広がる。年を重ねる度に、子どもたちの手先が発達する様子を表そうと、回園が企画された。園児らがひもを編み、結び上げたクモの巣は、最大で9メートルに及び、お化け屋敷調の暗い部屋と、今、原油を巡り一部の国を除いて世界は四苦八苦しています。日本は七〇年前、国が進路を誤り原油の確保が出来ず、大変な時代を潜り抜けました。戦時体制では石油類は統制下にあり、自動車による輸送は代用燃料となりました。そのため中央卸市場から市内に点在する公設市場への、生鮮品輸送方法の確保が急務となりました。そこで京都市は不要不急となつた散水電車を貨物電車に改造して、公設市場へ配達することにしました。7両が改造され元からの1両炉を加え、8両が市民



8/2~8/31・ギャラリー集 園児撮影の写真展

昭和保育園写真展 「ご近所さん」

毎月第三日曜日開催 (要・予約) 「集西楽サカタニ」主催で取組んでいます

「【】内は京都新聞 8/30記事写真から」 園児たちの熱心な作業姿を見ていても目的が解らず、園長先生にお尋ねした。「小学校に入るまでに、蝶結びが出来るように」とのお応え。そう言われると会場に入り口に色々な結びの形が紙や紐で造られたハネルがかざられている。開催前から何度も保育園先生方が、ホールで検討されたプランを前日に園児たちがワイワイとハシヤギながら、紐を結び「くもの巣」をつくっていく。良く結び、結ぶのに苦しんでいる子に手助けをして出来上がった。ホールを暗くし電源が入ると青白い「大きなクモの巣」が浮かび、歓声がホールに響いた。どの子の顔も誇らしげに輝いていた。先生方のうれしそうなお顔も見えた。

昭と保育園・ご案内
園長：海老原正人
京都市東山区鞆町七条下ル
(京阪七条駅より徒歩1分)
TEL: 075-561-0091
FAX: 075-561-0743

京阪七条交差点をめくって (14) 市電に貨物電車 沖中忠順 (おきなかただより)



【写真説明】
撮影：高橋弘さん。
場所：東山五条上る高橋写真店前。ボールが2本です。

今、原油を巡り一部の国を除いて世界は四苦八苦しています。日本は七〇年前、国が進路を誤り原油の確保が出来ず、大変な時代を潜り抜けました。戦時体制では石油類は統制下にあり、自動車による輸送は代用燃料となりました。そのため中央卸市場から市内に点在する公設市場への、生鮮品輸送方法の確保が急務となりました。そこで京都市は不要不急となつた散水電車を貨物電車に改造して、公設市場へ配達することにしました。7両が改造され元からの1両炉を加え、8両が市民

1944(昭和19)年から1949年6月まで、野菜や魚を入れた木箱を積んで公設市場の近くまで運び、後追いの市電を停めて積み下ろしをしました。正面公設市場はどうだったのでしょうか？七条河原町から北行のポイントはなく、京阪七条交差点東入で降ろしたのでしようか、地元の皆さんにお尋ねします。筆者は下鴨、田中公設市場のものをみました。(注)ポイント「線路を切替える転轍機」これが無いと市電は七条通から河原町通へ乗入れが出来ない。

上の写真は東大路五条上ル東側現在には駐車場、昭和の年頃までお寺があったと思っっています。ご存知の方「寺名と移転先」をお教え下さい。編集者



参加協力金500円
ワンコインご協力を！
十一月九日
十三時開場
十三時半~二十時まで

「ユニセフ」
年四回開催
「朝粥食べて
おしゃべり会」
毎月第三日曜日開催 (要・予約) 「集西楽サカタニ」主催で取組んでいます

第五回・駅伝ライブ
の日程などがまじりました。「ユニセフ・ハンド・イン・ハンド協賛イベント」です。店頭・ギャラリー集・楽々ホール全てを使い13組以上のユニセフが連続演奏です。収益金は「ユニセフ基金」になります。世界の餓えたい子供達を救いましょう。チラシ同封しました。

酒屋で生きて 生かされて

第二十一話

体力と気力

お酒の共和国の共同事業の整理を始めました。酒専門店の「西陣屋」を売却、隣で営業していた「酒座・陣」(割烹居酒屋)を譲渡・川端倉庫閉鎖「らーめん三五一五」閉店。「ファミリーマート西硝店」閉店等一連の業務縮小を計りました。また、大腸切除手術で落ちた体力を戻そうと、毎朝散歩と体操。歩きながら「負けるな酒谷お前ならでできる」と自分で自分を励ますため声を出して歩きます。体力も気力も段々と回復してきました。本事業は好調で利益を上げていきましたから出血さえ止めれば大丈夫の状況まで戻りました。その頃の高額な授業料(借入金)はなんとか払い終わりました。(その過程で税務調査有り別記します)

「お酒の共和国」は、「店はお客様のためにある」を基本理念として、各店が自分の地域に密着し、店の連合体をつくることでした。

長年勉強を重ねこの仲間なら出来るかと考えていたのですが残念な結果になりました。

一段落して「べじべじ倶楽部」に参加し、六〇才以上に

方々に協力いただいて、立ち飲み酒場「あちよぼ」"あ"を開店しました。

「べじべじ倶楽部」は順調に仕事が拡大しましたので、当時週2回配送を6回に増やそうと「チラシ」を30万枚作成し拡大の準備をしました。

時、バブルが弾けて大変な時代です。隣の「あさひ銀行東山支店」は「出張所」に格下げされてました。私どもの敷地と接していません。それで又ピョンチ到来です。以下次号

番外編 **税務調査**

昔のこぼれ話

昔、わが社は4年に1度位税務調査官が「税務調査」のため来られました。平成10年5月?顧問の会計士さんか

ら調査の日時のお知らせが入り、今回は調査に立ち会いましょうの申出を私で対応するとお断りし調査を受けました。前期決算で「膨大な除却損」(お酒の共和国の關係)を出し、全額一括処理は無理だと忠告されましたがそれを承知で法人税申告書を提出しました。

調査に来られた税務官は「これは一度に損金としては税法上認められない」暫く押し問答。私は、当社のこれまでの決算上「旅費交通費」でタクシー代、「交際費」に飲食や個人的費用があるか見て欲しい。税法で当然認められるものを経費計上にせず「利益」にして納税してきた。私と会社を混合はしていない。今回は認めて貰いたいと抵抗

しました。「明日又来ますが答えはおなじですよ」

「判りましたが次のことを統括官に伝えて」と「作年4月の消費税アップの際、従業員バイトに残業させた。それは国のため、当社の仕事ではない。その賃金を宮沢大蔵大臣宛に内容証明で請求する。その前に、商工会議所内にある経済記者クラブで請求のことを発表させてもらえ」(以上大意)。

翌日、殆んど認められて調査終了。顧問の会計士さんには認されと告げると驚かれました。私も若かったなあ。公正な納税態度を認められたのか、今の利益が雀の涙ほどでなのか最近では税務調査は有りません。

お酒の四方山話

濁酒(たくしゅ・にこりざけ)

昨年、信州・佐久の武重本家酒造株式会社さんが濁酒を醸造されていることを知り、お取引をお願いしました。

わが店は戦前、酒場も経営「大白ドロ酒」なるものを提供していました。(とんからりん・酒屋で生きて生かされて掲載済)

又、学生時代、



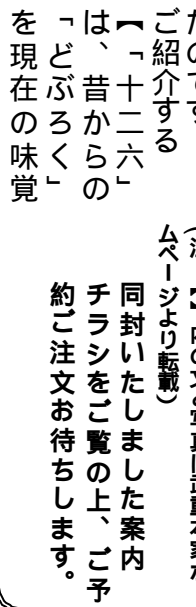
三條や九條の薄暗い酒場で「どぶ」を飲んでいきます。その「ドロ酒・どぶ」と濁酒は別物ですが懐かしく響きます。

酒蔵を訪れた際、「モロミ状態の酒」をいただくことがあります。その美味しさをそのままお客さんに届けられたらとおもいましたが、酒税法と流通手段の壁は越えられない時代でした。

やっとなの思いが現実にあつたのです。

ご紹介する

【「十二六」は、昔からの「どぶろく」を現在の味覚



に合わせた全く新しい酒。よくすりつぶした米とこうじ、それと水だけで「十二六」はできあがる。

こうじの力で米から出た甘味が、酵母によってアルコールと炭酸ガスに変わる。米の甘味が十分に残り、キリリとした酸味、舌の上で弾ける炭酸ガスの泡も加わって、口の中いっぱい楽しさがひろがるお酒です。」

(注:【内の文と写真は武重本家ホームページより転載)

同封いたしました案内チラシをご覧の上、ご予約ご注文お待ちしております。

編集後記

世の中全体が変た。

色々な動物が、わが子を危険から守る必死な姿、食物を得るため犠牲を払っての移動する自然の姿をテレビで見ると、万物の霊長たる人間社会では、無差別、親、子、殺しや詐偽が多発。オレオレから「ふりこめ」に代わっても被害者は老人多し。

18才から政府所管の社会保険に加入以後厚生年金は満70才、健康保険料は今も払い、勤務時間は平均的国家公務員の2倍は越える。現役だ私はいないが、後期高齢者の格付けは拒否したい。健康保険被保険者証を取り上げるな!

同じ叫びを方々で聞く。

国家・地方公務員・議員の(含む大臣、知事、市長)退職金額を調べ「額」に驚いた。格差は広がったのでなく前から有つて、最近更に酷くなっただけ。石川啄木は「黙って手を見たら」農民が戦前「娘売ります」と書き、人買い、ルンペン、乞食、(差別語?)がいた。呼び方は変更されたが、状況は今も続く。世界二番の経済大国、他国援助をする。

と新総理がおつしやつた。

大金持ちは気前がエエなあ。

一番、二番は貧富差でも大國ボロは着ても心は錦で「エエじゃ無いかエエじゃないか」